

かがやけいのち No.4

発行：いのちまもるヒューマンチェーン会議

台東区入谷 1-9-5 日本医労連内 tel 03-3875-5871

「このまま通していいの？医療保険制度改革関連法案」

国会前スピーチ集会



14日から衆議院で審議入りした、医療保険制度改革関連法案（「持続可能な医療保険制度等を構築するための国民健康保険等の一部を改正する法律案」）の成立阻止のため、16日、医師や看護師をはじめとした医療従事者約200名が衆院議員会館前に集まり、国会前スピーチ集会を行ないました。

全国から駆けつけた保団連の医師を始めとした医療関係者がかわるがわるにリレースピーチに立ち、患者負担増や混合診療の拡大につながる今回の改悪案に断固反対の決意が述べられました。また、複数の患者団体から連帯の挨拶があり、開会中の国会の合間を縫って、日本共産党から4名の国会議員が激励と連帯の挨拶に駆けつけてくれました。集会では、最後にアピール案（別紙掲載）を確認し、その後いのちまもるヒューマンチェーン会議の代表者で法案の慎重審議と反対する声を伝え、法案を成立させないように内閣府に要請しました。

衆議院厚労委員会の傍聴行動に参加を！

22日(水)、24日(金)の委員会は、午前は8:40、午後は12:40から、衆院議員面会所で傍聴券を配布します。23日(木)も参考人質疑が予定されていますが時間は未定です。傍聴希望者は中央社保協(03-5808-5344)に事前申し込みを。

私たちが伝えたいことはただひとつ 安心して医療を受ける権利を奪う法律は成立させないで下さい －医療保険制度改革関連法案の審議に対して

政府は、3月3日、医療保険制度改革関連法案（「持続可能な医療保険制度等を構築するための国民健康保険等の一部を改正する法律案」）を国会に提出しました。関連法案の審議は、4月中旬にも始まろうとしています。

この法案は、経済的困難を抱えながら病気とたたかっている患者を、さらに追い込む負担増計画が目白押しです。

- ・入院時の食事療養費は自己負担を一食260円から460円に引き上げ
- ・紹介状なしで大病院を受診する場合 初診時または再診時に最大1万円負担

その上、予算措置で、75歳以上の高齢者865万人の保険料が2倍から10倍と大幅引き上げです。さらに、法案には、

- ・有効性、安全性が未確立な医療を「患者の自己責任」の名で広げる「患者申出療養」の創設
- ・都道府県に公的医療費削減の役割を担わせる「国保の都道府県単位化」

なども盛り込まれ、安心して医療を受ける権利を奪う内容が含まれています。

しかも、一つひとつが慎重に議論すべき内容なのに「一括」して提案し、十分な審議もなしに成立させようとしています。そのうえ法案についてマスコミもほとんど取り上げません。

しかし、みなさん、納得できますか。「社会保障の充実」のためと、昨年消費税を5%から8%に、引き上げられました。消費税は増税なのにこの法案などで公的医療費は削減です。例えば、今年度の予算で社会保障費を3900億円も削減しました。さらに、さ来年は10%引き上げです。

私たちは、患者さんに寄り添ってほしい医療従事者です。

お金の心配なく治療に専念したい患者です。

医療をはじめとする社会保障の充実を願う国民です。

そんな私たちが伝えたいことはただひとつ。

「安心して医療を受ける権利を奪う法案は成立させないでください」。

国会議員のみなさん、熟慮と慎重な審議、そして法案を成立させないことを求めます。

マスコミのみなさん、法案のことを国民に知らせてください。

国民のみなさん、法案の中味を知ってください。そしてまわりの人に伝えてください。

そして、ご一緒に声を上げましょう。行動しましょう。

2015年4月16日

「いのちまもるヒューマンチェーン会議」代表呼びかけ人

伊藤真美（花の谷クリニック院長）

川島みどり（日本赤十字看護大学客員教授）

本田 宏（医療制度研究会副理事長）